

経営指針

第 24 期

自 令和 4 年 9 月 1 日

至 令和 5 年 8 月 31 日

福祉創造株式会社

神奈川県横浜市金沢区谷津町 1 5 7 番地

目次

発表にあたって	1
経営理念・企業目的・事業目的	2
経営方針	3
経営戦略	4
経営に関する計画	5
社風づくり	10

令和4年11月12日

発表にあたって

インフルエンザ感染流行と違い、通年でのコロナ感染予防のため PCR 検査や予防接種を引き続き受け、余暇活動にも気を配り、サービスの途切れる事の無いよう、日々全職員で対応していただきありがとうございます。
直近第7波は今までとは違い、これまで以上の備えが必要になり身体的、精神的に大変きつい期間が続き、さらには利用者から皆さんへの感染もありました。

その時誰も自ら渦中に立ち向かう事に躊躇してしまうものです。しかし皆さんは、職業人としての役割やモチベーション、規範意識をしっかりと維持して、限られた人員で最大限協力し合い、サービス提供を途切らせる事なく乗り切ってくださいました。

やはり皆さんは素晴らしい、そして大変頼もしいと改めて感じました。

生活の場を支える活動は、エンドレスで気の抜けない業務です。
そこで活躍する一員となり、日々の笑顔を紡ぎだす一翼を担って頂き、お客様から終の棲家としてお選びいただける、そんなサービス付き高齢者向け住宅として機能しているのは、皆さんのおかげです。

訪問事業では近隣事業者から相談や新たに声がかかり、常に新規契約をいただける事は、皆さんの日々真摯な活動の努力であり、信頼信用の積み重ねの賜物であります。合わせて感謝の念が絶えません。

新規事業では、認知して頂く事、広めて行く事等、構築していくことの大変さ、もどかしさを痛感しています。

その事は皆さんも同様に感じている事と思います。それにもかかわらず皆さんは諦めず、めげずに日々着実に種を植え、水を撒き、芽がでる為の努力を惜しまずに励んでくれています。共にあと一步前に進みましょう。

最後に、これからも皆さんと一緒に、社会課題を福祉の力で輝かせ品格、規範意識を備えた躍進し続ける、素晴らしい会社を築いて行けると信じています。

理念に近づくため、是非とも皆さんのご協力、お力添えをいただきたいと存じております。

どうぞよろしく願いいたします。

経営理念

福祉を輝かせ
人を敬い幸せを創造し
社会に貢献します

企業目的

成長する喜びと
笑顔あふれる人生を育みます

人々の心満たす暮らしに尽力し
生きる喜びを照らします

事業目的

希望を創る支援サービスで
地域社会を明るく豊かにします

得た利益は社員と社会へ還元して
会社継続繁栄の為に活用します

経営方針

学べる環境を作り好奇心探求心の種をまく

お客様の社会参加と明日への希望を提供する活動を行います

お客様が心やすらぐ支援活動の提供をし続けます

お客様とコミュニケーションを深め信頼関係を強化します

最新の知識と培った経験で付加価値を高める最適な支援を行います

社員の育成に努めます

経営戦略

人間性：コミュニケーションの深まる定例会を行う

人間性：他業種他社間交流会で視野を広げる

人間性：得意、得手、好きなことを話し合う機会を設ける

社会性：利用者さんのしぐさ、行動、マイブームを会話や観察で社会参加活動に役立てる

社会性：利用者さんの隠れたニーズを掴み介護保険、障害者自立支援に繋げる

社会性：利用者さんのアセスメントを充実して支援活動に活かす

科学性：多職種連携の研修を受ける

科学性：医療関係者と一層の連携強化で知識と経験を深める活動を行う

科学性：ご家族や関係事業者に定期利用状況報告を行う

科学性：地域包括ケアシステムの研修を受ける

科学性：働き方改革の為にIT,DX化の強化、サービス提供設備投資を適宜行う

人間性：ピアサポート体制を強化する

人間性：地域の資源を発見して様々な方法で情報発信していく

経営に関する計画

前年度経営報告

- ・売上・・・目標：1億6,000万円 ⇒実績：1億7,356万円（達成率108%）
内訳 本社 4,790万円、旭事業所 1億1,730万円
ファースト650万円
- ・経常利益…目標：2,400万円 ⇒実績：50万円（達成率2%）
- ・導入設備：PC2機、タブレット端末2台、車両2台（昨年度目標本社2台入替、実績1台）
全事業所WIFI設置

今年度経営計画

- ・売上・目標10%UP 2億765万円 ⇒月間売上1,730万円
金沢本社営業所 5,465万円 ⇒月間売上455万円
旭事業所 1億2,900万円 ⇒月間売上1,075万円
ファースト 2,400万円 ⇒月間売上200万円
- ・経常利益目標：3,114万円 売上の15%
- ・指定申請、旭事業所同行援護、セーフティネット住宅1棟4室
- ・本社、防災耐震基準適合事務所への移転、車両1台入替、
- ・本社常勤職員、旭事業所共に新卒1名採用、中途採用本社1名、旭1名、厨房1名増員する
- ・就業規則見直し（働き方改革に向けた見直し）
- ・福利厚生充実
- ・IT, DX, Zoom等を活用して働き方やサービス提供体制の最適化

中期経営計画（3年後）

- ・売上・・・目標：2億5,000万円
- ・経常利益目標：3,750万円 15%
- ・職員数：（パート含む）80名

前21期	1億4,000万円	経常利益	388万円
前22期	1億5,888万円	経常利益	391万円
前23期	1億7,356万円	経常利益	50万円
1年後	2億765万円	経常利益	3,114万円
2年後	2億2,500万円	経常利益	3,375万円
3年後	2億5,000万円	経常利益	3,750万円

職員に関する計画

- ・1to1面談を行う
- ・やりがいを発揮できる環境をつくる
- ・月1回事業部別カンファレンスによる情報共有を行う
- ・キャリア制度による確実な昇給
- ・ピアサポート研修
- ・事業所間連携の強化（Zoom等を活用する）
- ・デジタル勤怠管理

教育に関する計画

- ・職能レベルの見える化
- ・職責、職務に応じた個別、外部研修
- ・社内情報共有か実践研修と教育
- ・各事業の専門性を高める外部研修と教育
- ・社員、パート職員を問わず資格習得制度
- ・多職種連携の研修に参加する（地域包括ケアシステムを理解すること）

お客様に関する計画

- ・情報共有を強化し、スムーズなサービスを行う
- ・医療連携を強化し付加価値の高いサービスを提供する
- ・ホームページの更新

福利厚生に関する計画

- ・6月～9月の間 フレックス夏季休日、冬季休暇
- ・新人賞、優秀職員表彰、長期勤続5年・10・15・20年目年表彰
- ・新型コロナウイルス感染予防対策用品準備、インフルエンザ予防接種の一部補助
- ・誕生日プレゼント
- ・有給休暇消化100%を目指す

安全・整理整頓に関する計画

- ・ 5S活動の徹底、見える化を行う（整理・整頓・清掃）
- ・ ファイリングシステムの見える化（ワンベスト原則）
- ・ 食品衛生管理の徹底
- ・ 災害対策 BCP の作成（災害時事業継続計画）

新規事業に関する計画

- ・ 金沢区、防災耐震を備えた事務所移転
- ・ 指定申請事業 旭事業所 同行援護
- ・ セフティー居住支援住宅金沢区、1棟4室開設

雇用に関する計画

- ・ ホームページ、WEB（Twitter、ユーチューブ等）を利用した情報拡散を行い多様性の人材雇用を行う
- ・ 新卒採用（本社1名、旭事業所2名）

10年ビジョン改め第24期経営計画に関する補足

本年1月に会社組織を有限会社から株式会社へ、社名を「福祉創造株式会社」に変更いたしました。

5S活動開始（2事業所）、サービスごとの職員資格習得。

ホームページ改修再発進、採用パンフレット作製。

セーフティネット住宅の開設は無、紹介実績は1件。

グループ企業 あいざわ訪問看護ステーション、現在M&Aで放課後デイサービス交渉中、自立訓練（生活訓練）があります。

昨年のワードは（SDGs、ESG、サステナビリティ、ダイバーシティ、多様性）オリンピックの影響ではないかと個人的に思っています。

最近のワード（リスクリング、ギフトド、海洋プラスチックごみ、戦争、米国金利利上げ、円安）

カタカナで理解しづらい用語が多いので、そこは使わずに、こんな感じで切り替わった事が分からない、けれども自然とみんなが便利！働きやすいと思っていただけの機能を追加して行くこと。

それは、数年前に携帯電話からスマートフォンに切り替りました。一部まだお使いの方もおりますが、そこは置いといて、皆さんご存知でしょうがスマートフォンは本来電話ではなくて小型パソコンなのです！その際にアップルは小型パソコンと呼ばずにスマートフォン（電話）と商品名を発表致しました。聞きなれた、使い慣れた電話か！便利そうな新しい機能の付いた電話！その結果はご存知の通りで瞬く間に全世界に普及していきました。

私たちの身の回りにあるスマートフォン、タブレット端末、ノートパソコン、デスクトップパソコンの機能面は同じで、小さい順に電話機能が付いているのがスマートフォン、少し大きいサイズはタブレット端末、電話機能無しがノートパソコン、机の上に置いてあるのがデスクトップパソコン、繋がる便利な機能はメール、LINE、メッセージ等、みんな同じです。

現状はバイタル測定記録を紙に記入して更にタブレット端末に記録

今後は電子ペンで直接記入やマイクで音声入力へ

研修や会議をZoomで移動無しに

次に勤怠管理をカードやパソコンのみからスマートフォンでも可能に

我社の提供しているサービスはリアル活動中心ですが出来ることからDXを導入して便利にしていきます。

子育てや介護、自身の体調など生活様式の変化に合わせて選べる短時間勤務（週 30 時間）入職時に病気特別休暇を付与するなど、働きやすい雇用制度を整え順次導入致します。

本社事務所は防災、災害時の耐震基準が疑わしいので、災害時の事業継続を考慮し、新耐震基準を備えて利便性を損なわない場所へ移転を考えています。

これらの働き方、環境整備を整える原資を準備するには、利用者数の上乗せにあります。そのためには各訪問事業所は毎月利用者数を 2 名から 3 名増員して、月平均利用者数を 100 名以上に就 B は定員数の 80%以上稼働、月間利用者数 320 名以上目指します。

そして働き方、環境整備後に残った利益は、地域貢献、社員の皆さんに適正に分配いたします。

これからの未来を福祉の力で楽しく創造出来ると思います。
是非とも皆さんと作って行きましょう。ご協力をお願いいたします。

令和 4 年 11 月 12 日
福祉創造株式会社
代表取締役 石河幾久雄

社 風 づ く り

いつも良い挨拶から始めよう

感謝、謙虚に行動しよう

誠実に生きよう

学びを実践していこう